

はねっと 10

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター（サポセン）にいろいろな人が集まり、それぞれの色（個性）が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



一歩踏み出す気持ち芽生える「ワクワクビト」

毎日が縁日!? 地域の人々が つながる場をつくる

- ・仙台市南部拠点
地域おこし協力隊
- ・株式会社えんにちと
- ・Artist UGYAU

いわい ひろこ
岩井 寛子さん (47)



岩井さんは、地域おこし協力隊として、長町でイベント運営、各種SNSによる長町の情報発信など、地域の賑わいづくりに取り組んでいます。

仙台出身の岩井さんは高校卒業後、「アートをやるなら東京」と上京し、イラストを中心にアーティスト活動をしていました。コロナ禍で人との接触が制限されていた頃、下町のお店とコラボした時に、そのお店が人々の交流の場にもなっている様子を見て「人には縁をつなぐ縁日のような場が必要」と感じ、さらに「人の縁をつなぐ場をつくるのが好き」と自覚しました。また、展示をオンライン配信した時に「東京じゃなくてもアートはできる」と気づき、東日本大震災の時に何もできなかった後悔から「地元貢献したい」との思いもあり、2022年にUターンしました。

たまたま募集していた協力隊の要項に「アートイベントで賑わいを」とあり、アーティストとしての経験を活かして貢献できるのではと応募。八幡地区が地元の岩井さんにとって長町はなじみがなかったものの、活動を通じて信頼を得ていきました。街の人たちと協力し、非公式キャラクター「にゃがまち」と、「ながまちカプセルトイ」を制作。カプセルトイは、長町のお店やランドマークをイラストにして、アイテム化したもので、街のことを知ってもらい、長町の人とのコミュニケーションツールとして活用してもらおうと企画しました。

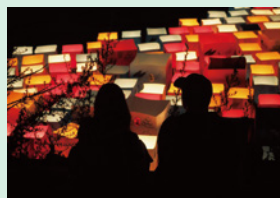
長町の商店街の人たちは、「長町は歴史ある街」と地元愛にあふれています。しかし、人口の多い地域だけに、その愛や情熱がなかなか伝わらない、広がっていかない現状があります。岩井さんは、数々の地域イベントを担う人々が頑張ってきた姿を見て「街の魅力は『こんなお店がある』とか『こんなイベントがある』ではない、『こんな人がいる』ではないか」と思うように。「地元の人間ではない私だからこそ」の視点と立場で長町の人々の魅力を伝えながら、今日もともに汗を流しています。

株式会社えんにちと

岩井さんは、地域おこし協力隊の任期を終える2025年3月を見越して、引き続き長町地域の賑わいづくりに関わっていこうと、2024年3月に株式会社「えんにちと」を設立しました。

地域おこし協力隊が、もっと地域の魅力を発信できるようにと県内各地の隊員と協力してポータルサイトやフェスの運営も担ったことから、「えんにちと」では、宮城の地域おこし協力隊のサポートも行います。

右は岩井さんが実行委員会として関わった「広瀬川灯ろう流し」と関連イベントの「ながまち駅前ピアガーデン」の様子。



▲灯ろう流し



▲ピアガーデン



◀岩井さんの
各種活動についてはこちら